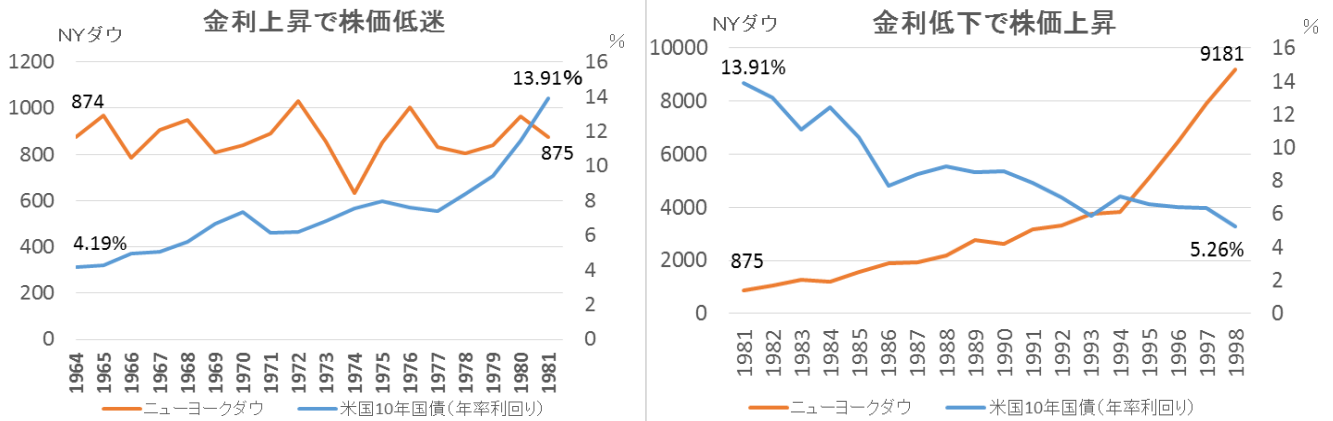


ATTENTION

金利は株式市場を引っ張る重力



株式市場は、FRBや日銀の金融政策を、マーケットを動かす重要な要因として注目します。中でも中央銀行が設定する政策金利には神経を尖らせます。パフェットも、金利が10年、20年の投資成果に大きな影響を与えることは強調しています。金利はいつも存在する見えにくい重力のようなものなのです。安全金利といわれる国債金利が高くなれば、不動産や株などの資産価値は下方調整する必要があり、低くなれば上方調整となるのです。下の式は、分母の金利が上がれば資産価値は下がり、金利が下がれば資産価値は上がることを示しています。

$$\text{資産価値} = \frac{\text{利益(1年目)}}{(1+\text{金利})} + \frac{\text{利益(2年目)}}{(1+\text{金利})^2} + \dots + \frac{\text{利益(n年目)}}{(1+\text{金利})^n} + \frac{\text{最終価値(n年目)}}{(1+\text{金利})^n}$$

これがよくわかるグラフを見てみましょう。1964年から1981年までの17年間で、米国のGDPが5倍に増え、フォーチュン500企業の売上が6倍以上になったにも関わらず、ニューヨークダウはほぼ横ばいでした。その間に国債金利は1964年の4%から1981年には14%に上昇しています。資産価値を押し下げる重力が3倍以上になったということになります。一方、1981年から1998年の17年で、国債金利は14%から5%に低下。資産価値を押し下げる重力が大幅に軽くなったので、この間の投資利回りは年率で19%。まさに株式投資の黄金時代だったのです。株式市場が上がるのも下がるのも、いかに金利が大きな影響を及ぼすかがわかります。

INFORMATION

市場の大きな下落にどう臨むべきか

以下の数字は、過去5ヶ月の日米株式市場の騰落幅です。

NYダウ:

10月-1,342ドル,11月+423ドル,12月-2,211ドル,1月+1,672ドル,2月+916ドル

日経平均:

10月-2,200円,11月+431円,12月-2,336円,1月+759円,2月+611円

両市場とも10月、12月の下落幅が目立ちます。米国市場の戻りが注目されますが、我々投資家が、これらの動きに一喜一憂していたら、神経をすり減らしてしまいます。しかし、多くの投資家はマーケットの荒波に翻弄されて、損して売ってしまったりします。このようなときに、われわれはどう臨むべきかということは、大変大事なポイントです。ここで、2017年のノーベル経済学賞を受賞したリチャード・セイラー教授の言葉をお伝えしましょう。

テレビで「朝起きて、テレビをついたら株式市場が3%下がった」といっていたら、どうするかという質問に対するセイラー教授の答えは、あっさりと「チャンネルを変えろ。」

「私に投資アドバイスを求める人にもいつも言うことは、株式に比重を置いた分散されたポートフォリオをついたら、新聞を読むとき、スポーツ欄以外は、周到に用心して読まないようにするということだ。」「クロスワード・パズルもいい。」と真面目に言っています。

テレビや新聞の日々の市場や経済の情報は、日々の株価を追って売買を繰り返す場合には必要ですが、長期投資の資産運用にはまったく関係なく、広く分散されたポートフォリオを持って、厳密に意識してそういうものから遠ざかっていることが、もっともいい臨み方ということなのです。

MARKET

(2月末)

(1月末比)

日経平均

21,385.16円 **➔** +611.67円
(+2.94%)

NYダウ

25,916.00ドル **➔** +916.33ドル
(+3.67%)

米ドル

111.45円 **➔** +2.50円
(+2.29%)

今月の言葉:

私は誰にも何も求めないので幸せでいられます。お金もどうでもいい。勲章も、肩書きも、名誉も、私には何の意味もありません。賞賛もほしくありません。私に喜びをもたらすただ一つのは、仕事、バイオリン、ヨットを別にすれば、ともに働く人々への感謝だけです。

-アインシュタイン

今年のバフェット「株主への手紙」

今年も、世界最高の投資家、ウォーレン・バフェットの株主への手紙が届きました。いつ読んでも、奥が深く、示唆に富む内容です。その語りかける口調がなんともいえません。今年も、そのエッセンスを紹介しましょう。

バフェットは会計原則による四半期ごとの業績の上げ下げに捉われることの愚かさを強調します。たとえばパークシャー・ハサウェイの2018年の会計上の純利益は、第1四半期と第4四半期が各々11億ドル、254億ドルの損失、第2四半期、第3四半期が120億ドル、185億ドルの利益といった具合です。バフェットは会計の影響を受けにくい営業利益を見るべきとしています。それで見ると各四半期とも安定した収益を上げ、2018年1年では248億ドル、これまで最高の2016年176億ドルを大幅に上回ります。

またウォール街の期待に応えるため、会計操作の罠に落ちる経営者に警告を發します。「1回だけ」が際限なくなり、トップがやれば下はみんなやるようになるというのです。そしてパークシャーの業績開示はまったくクリーンと付け加えます。

次にバフェットは、パークシャーを5つの森で見ることを勧めます。木々は忘れるというのです。木々で見てもパークシャーの価値は見えず、1つの森で見れば、程よく評価できるというのです。第1の森は買収した事業会社群、2番目は投資した上場株式、3番目は共同出資の企業群、4番目は現在1120億ドルに上るT-Bill(政府短期証券)や現金同等物や触ることのない200億ドルの固定利率証券、そして最後は投資資金を生み出す保険事業というわけです。

こうした企業群を紹介する中で、投資に係わるさまざまなテーマをバフェットは話します。たとえば、自社株買い。保有株のアメリカン・エクスプレスは、過去8年保有株数は変化ないが、自社株買いによる発行株数の減少で、保有比率は12.6%から17.9%に上がっ

たとのことです。利益が増えながら発行株数が減るのは、株主にとっていいことというわけです。しかし、めくら減法に高い株価で自社株を買うのは企業価値の破壊になるとして、株価を上げるためだけに自社株買いに走ることを諫めています。

千数百億ドルもの資金をもつバフェットですが、事業買収の環境はよくない、いまは価格が高すぎるとしています。一方で2019年も上場株式への投資は行なうし、巨像サイズの買収にも思いをめぐらすと、わくわくしてきて心臓がどきどきしてくるとのこと。バフェット88歳、マンガー95歳、自分たちは「まだ若い」というのです！

この5つの森を1つの存在にまとめ上げることによって、パークシャーの強さが最大になり、その全体のパワーは部分の合計よりはるかに大きいといっています。

バフェットは、1942年11歳のとき、初めての114.75ドルの投資を引き合いに、そのお金をS&P500インデックスファンドに投資していたら、現在606.811ドルになっているといっています。実に5288倍。“資産価値を守る”ために、当時、金に114.75ドルを投資していたら、いま4200ドル、たったの37倍。この上がり幅の143倍の差をバフェットは、“アメリカへの追い風”と表現しています。パークシャーがここまでアメリカが繁栄してきたのは、この追い風によっているというのです。“我々は幸運だ。誇らしいほど幸運だ。”この追い風はバフェット11歳から今まで77年間と同じように長く続き、パークシャーも繁栄し続けるとしています。

我々、外から見る人間は、このようなアメリカをうらやましくもあり、ひがみっぽくもあり、正面から受け入れにくいところですが、どうもそれは真実で、まともに受けとめた方がよさそうです。

SEMINAR

びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年の投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！

日時：2019年3月23日(土)15:00~17:00

場所：東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「3月23日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。
メール：info@bfsc.jp Tel：03-6721-8386



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072
電子メール：info@bfsc.jp